



報道機関各位



平成30年 3月26日
室蘭開発建設部 広報官

直轄胆振海岸の災害復旧工事が完了しました

平成28年8月に発生した台風第10号の暴風に伴う高波により、苫小牧市と白老町の直轄胆振海岸区間内で、海岸堤防護岸ブロックのめくれ、基礎石の飛散、人工リーフが破損する被害が発生しましたが、平成29年2月から災害復旧を進め、このたび、平成30年3月23日に工事が完了しましたのでお知らせします。

【参考資料】

関連する報道発表資料

○平成28年8月台風第10号による胆振海岸高波被害への緊急的な対策について

(平成28年12月9日)

http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/ud49g7000000xh76-att/09_iburitaishaku.pdf

○直轄胆振海岸 災害復旧 進ちよく状況

<http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/tisui/c5b1ee0000007ail.html>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 電話（治水課）0143-25-7045

治水課 課長 天野 聡 （内線 291）

治水課 上席治水専門官 松井 博幸 （内線 407）

室蘭開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>



直轄胆振海岸の災害復旧工事が完了しました

平成28年8月に発生した台風第10号の暴風に伴う高波により、被害を受けた直轄胆振海岸における海岸保全施設の災害復旧工事が平成30年3月23日に完了しました。

被災直後の状況

箇所①

平成28年9月9日撮影



海岸堤防護岸のめくれ・基礎石の飛散状況(白老町)

箇所②

平成28年9月8日撮影



海中の人工リーフが破損し、傾いた灯標の状況(白老町)



直轄胆振海岸の被災概要と災害復旧工事の内容

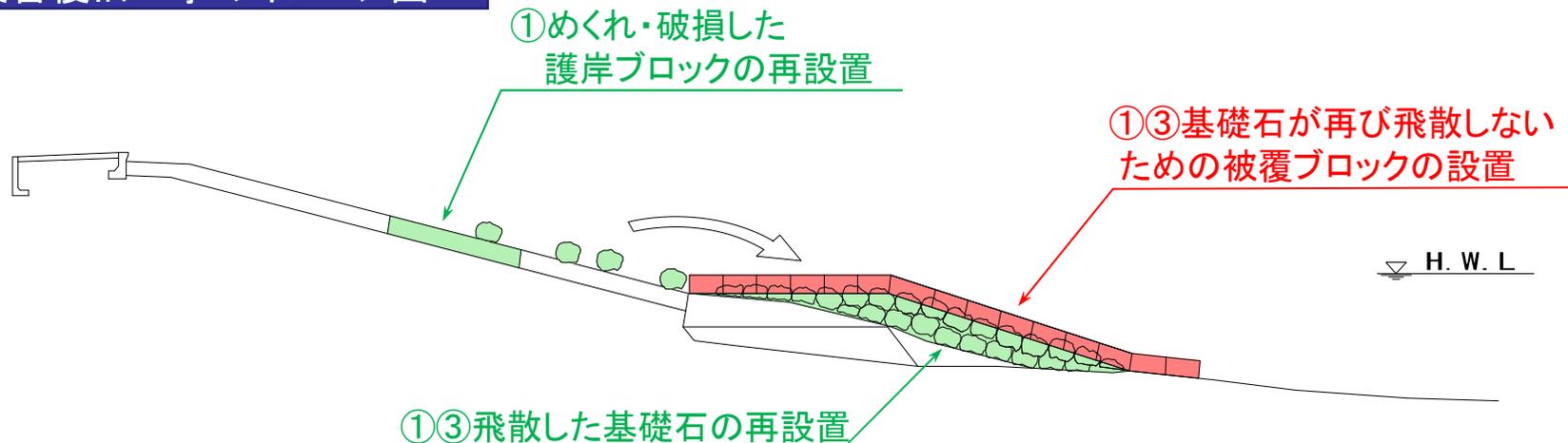
被災概要

- 被災箇所① 白老町萩野・北吉原地先
基礎石飛散、海岸堤防護岸ブロックめくれ・破損 L=1,800m
- 被災箇所② 白老町高砂地先
人工リーフ破損 L=42m
- 被災箇所③ 苫小牧市有明町地先
基礎石飛散 L=1,700m

災害復旧工事の内容

- 被災箇所① めくれ・破損した護岸ブロックを再設置
飛散した基礎石を再設置
基礎石が再び飛散しないための被覆ブロックを設置
- 被災箇所② 破損・散乱した人工リーフブロックを再設置
傾いた灯標を再設置
- 被災箇所③ 飛散した基礎石を再設置
基礎石が再び飛散しないための被覆ブロックを設置

災害復旧工事のイメージ図

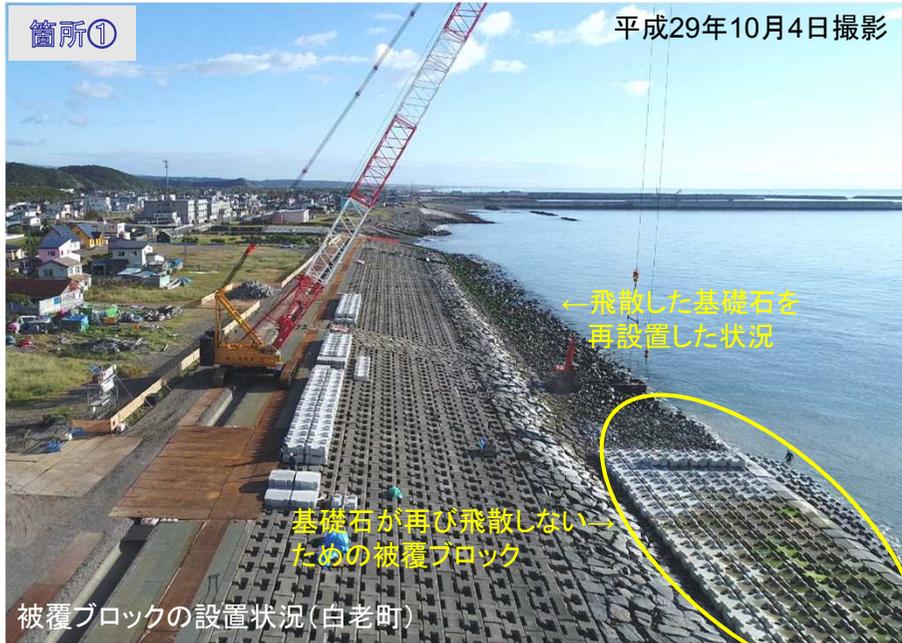


直轄胆振海岸災害復旧工事施工中の状況について

施工中の状況

箇所①

平成29年10月4日撮影



箇所②

平成30年1月6日撮影



直轄胆振海岸災害復旧工事完了後の状況について

工事完了後の状況

